

「平成30年度全国学力・学習状況調査」結果について

1 実施概要について

(1) 調査の目的

- ①義務教育の機会均等とその水準の維持向上
- ②教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立
- ③児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に活用

(2) 調査の対象及び内容【平成30年4月17日（火）実施】

- ①各小学校6年生及び各中学校3年生の全児童生徒が対象
- ②調査内容
 - ア. 国語、算数・数学、理科の学力調査
 - イ. 児童・生徒の学習状況等に関わる質問紙調査
 - ウ. 学校に対する質問紙調査

(3) 実施の状況（公立の実施学校数と児童生徒数）

①全国の状況

- 小学校等 19,386校
 - ・国語A：1,030,025名 国語B：1,029,799名
 - ・算数A：1,030,013名 算数B：1,029,847名
 - ・理科：1,029,828名
- 中学校等 9,597校
 - ・国語A：966,764名 国語B：966,786名
 - ・数学A：966,969名 数学B：966,908名
 - ・理科：967,188名

②本県の状況

- 小学校等 242校（小学校240校、義務教育学校前期課程1校、特別支援学校小学部1校）
 - ・国語A：8,934名 国語B：8,932名
 - ・算数A：8,933名 算数B：8,931名
 - ・理科：8,928名
- 中学校等 100校（中学校96校、義務教育学校後期課程1校、特別支援学校中学部3校）
 - ・国語A：9,187名 国語B：9,184名
 - ・数学A：9,179名 数学B：9,174名
 - ・理科：9,161名

2 学力調査の結果（本県における各教科の平均正答率）

(1) 小学校6年生 ※数値は正答率%（カッコ内は全国平均）

	A（主として知識に関する問題）	B（主として活用に関する問題）
国語	71 (70.7)	54 (54.7)
算数	63 (63.5)	51 (51.5)
理科	62 (60.3)（知識に関する問題と活用に関する問題を一体的に出題）	

(2) 中学校3年生 ※数値は正答率%（カッコ内は全国平均）

	A（主として知識に関する問題）	B（主として活用に関する問題）
国語	77 (76.1)	61 (61.2)
数学	65 (66.1)	46 (46.9)
理科	68 (66.1)（知識に関する問題と活用に関する問題を一体的に出題）	

3 県教育委員会のコメント

◆教科に関する調査について

昨年度と比較して、小・中学校ともに改善が見られました。各市町村教育委員会における課題に応じた取組みや、各学校における児童生徒の実態に寄り添った取組みが子どもたちの確実な力に結び付いてきていると考えられます。しかしながら、それぞれの教科を分析してみると課題や改善すべき点もあり、全国平均を下回る教科もあるため、今後も引き続き、学力向上に向けた取組みを充実させていく必要があると考えています。

<国語> 小・中学校ともにA問題では全国平均を上回りました。B問題については全国平均を下回っています。正答数分布グラフを見ると、全国とほぼ同様の分布となっています。

<算数・数学> A問題、B問題ともに全国平均を下回りました。学習状況調査を見ると、「算数・数学の授業の内容はよく分かる」と回答している児童生徒の割合が全国と比べて依然下回っています。「分かる」と「好き」の好循環を生み出せるよう、今後も授業改善を進めていく必要があります。

<理科> 小・中学校ともに全国平均を上回りました。正答率分布グラフを見ると、小・中学校ともに全国に比べて中・上位層が多くなっています。学習状況調査を見ると、「理科の勉強は好き」「理科の授業の内容はよく分かる」と回答している児童生徒の割合が高くなっています。観察、実験を通じた課題解決に取り組む中で、児童生徒の力を高める授業を継続していくことが大切であると考えます。

◆学習状況調査について

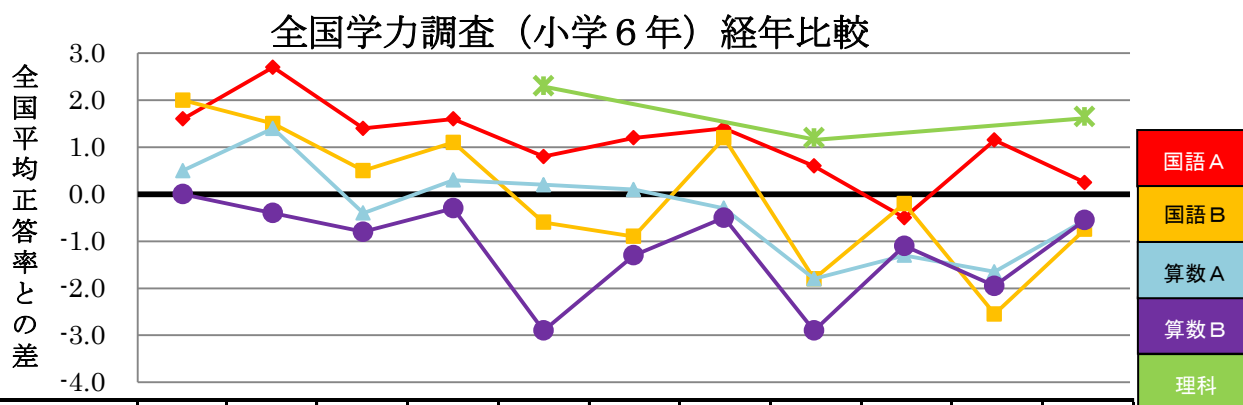
児童生徒の状況については、自尊感情等に関する項目が高くなっていますが、今後も一層学校と家庭や地域が一体となって児童生徒を育てることが大切であると考えています。

<児童生徒自身の状況> 自尊感情や将来の夢、規範意識等が高い傾向にあり、望ましい集団の中で活動することにより、互いのよさや可能性を発揮できていると考えられます。家庭生活については、計画的に学習している、日々の予習・復習をしている児童生徒の割合が全国と比べて高くなっておりませんが、子どもたちの自ら学ぶ姿勢をさらに育てていく必要があると考えています。

地域との関わりについては、地域行事への参加率や地域・社会の問題への関心が全国よりも高くなっており、地域の中で子どもたちを育てる風土が備わっていることがうかがえます。

<学校・授業の状況> 課題解決に向けて主体的に取り組むことや自分の考えを発表するときの工夫をすること、話し合いを通して自分の考えの深まりや広がりを実感することができている児童生徒の割合が全国よりも高くなっています。一方、教育課程の工夫に関わる項目は全国よりも低く、さらなる工夫が必要であると考えています。

県教育委員会としましては、各学校や市町村教育委員会における児童生徒の実態に応じた的確な取組みを今後も支援するとともに、「探究型学習」の推進を通じた授業改善等を通して、学力向上に取り組んでまいります。また、家庭や地域と連携を図りながら児童生徒の興味を引き出し、主体的な学びが展開されるよう取り組んでまいります。



	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
国語A ◆	1.6	2.7	1.4	1.6	0.8	1.2	1.4	0.6	-0.5	0.7~1.6	-0.2~0.7
国語B ■	2.0	1.5	0.5	1.1	-0.6	-0.9	1.2	-1.8	-0.2	-3.0~-2.1	-1.2~-0.3
算数A ▲	0.5	1.4	-0.4	0.3	0.2	0.1	-0.3	-1.8	-1.3	-2.1~-1.2	-1.0~-0.1
算数B ●	0.0	-0.4	-0.8	-0.3	-2.9	-1.3	-0.5	-2.9	-1.1	-2.4~-1.5	-1.0~-0.1
理科 *					2.3			1.2			1.2~2.1

※平均正答率について、全国の値は小数第1位まで示されているのに対し、都道府県の値は平成29年度から整数値で示されていることから、平成29年度以降のグラフの値は、全国との差の範囲の中点としています。

※平成22・24年度の平均正答率は推計値。平成23年度は東日本大震災のため中止。

○小学校国語

A問題(主に知識に関するもの)

B問題(主に活用に関するもの)

年度	平均正答率	全国との差	年度	平均正答率	全国との差
平成19年度	83.3	+1.6	平成19年度	64.0	+2.0
平成20年度	68.1	+2.7	平成20年度	52.0	+1.5
平成21年度	71.3	+1.4	平成21年度	51.0	+0.5
平成22年度	84.9	+1.6	平成22年度	78.9	+1.1
平成24年度	82.4	+0.8	平成24年度	55.0	-0.6
平成25年度	63.9	+1.2	平成25年度	48.5	-0.9
平成26年度	74.3	+1.4	平成26年度	56.7	+1.2
平成27年度	70.6	+0.6	平成27年度	63.6	-1.8
平成28年度	72	-0.5	平成28年度	58	-0.2
平成29年度	76	+0.7~+1.6	平成29年度	55	-3.0~-2.1
平成30年度	71	-0.2~+0.7	平成30年度	54	-1.2~-0.3

○小学校算数

A問題(主に知識に関するもの)

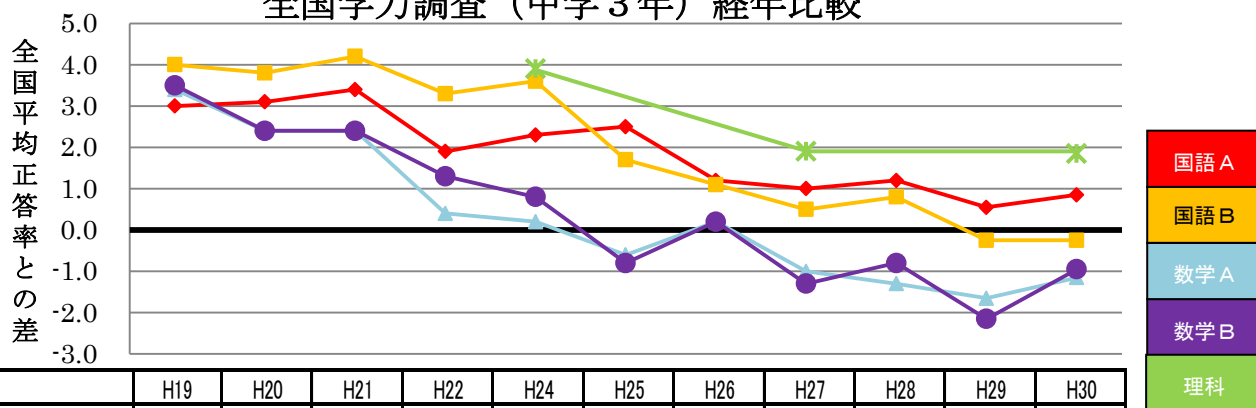
B問題(主に活用に関するもの)

年度	平均正答率	全国との差	年度	平均正答率	全国との差
平成19年度	82.6	+0.5	平成19年度	63.6	±0
平成20年度	73.6	+1.4	平成20年度	51.2	-0.4
平成21年度	78.3	-0.4	平成21年度	54.0	-0.8
平成22年度	74.5	+0.3	平成22年度	49.0	-0.3
平成24年度	73.5	+0.2	平成24年度	56.0	-2.9
平成25年度	77.3	+0.1	平成25年度	57.1	-1.3
平成26年度	77.8	-0.3	平成26年度	57.7	-0.5
平成27年度	73.4	-1.8	平成27年度	42.1	-2.9
平成28年度	76	-1.3	平成28年度	46	-1.1
平成29年度	77	-2.1~-1.2	平成29年度	44	-2.4~-1.5
平成30年度	63	-1.0~-0.1	平成30年度	51	-1.0~-0.1

○小学校理科

年度	平均正答率	全国との差
平成24年度	63.2	+2.3
平成27年度	62.0	+1.2
平成30年度	62	+1.2~+2.1

全国学力調査（中学3年）経年比較



※平均正答率について、全国の値は小数第1位まで示されているのに対し、都道府県の値は平成29年度から整数値で示されていることから、平成29年度以降のグラフの値は、全国との差の範囲の中点としています。

※平成22・24年度の平均正答率は推計値。平成23年度は東日本大震災のため中止。

○中学校国語

A問題（主に知識に関するもの）

B問題（主に活用に関するもの）

年度	平均正答率	全国との差	年度	平均正答率	全国との差
平成19年度	84.6	+3.0	平成19年度	76.0	+4.0
平成20年度	76.7	+3.1	平成20年度	64.6	+3.8
平成21年度	80.4	+3.4	平成21年度	78.7	+4.2
平成22年度	77.0	+1.9	平成22年度	68.6	+3.3
平成24年度	77.4	+2.3	平成24年度	66.9	+3.6
平成25年度	78.9	+2.5	平成25年度	69.1	+1.7
平成26年度	80.6	+1.2	平成26年度	52.1	+1.1
平成27年度	76.8	+1.0	平成27年度	66.3	+0.5
平成28年度	77	+1.2	平成28年度	67	+0.8
平成29年度	78	+0.1~+1.0	平成29年度	72	-0.7~+0.2
平成30年度	77	+0.4~+1.3	平成30年度	61	-0.7~+0.2

○中学校数学

A問題（主に知識に関するもの）

B問題（主に活用に関するもの）

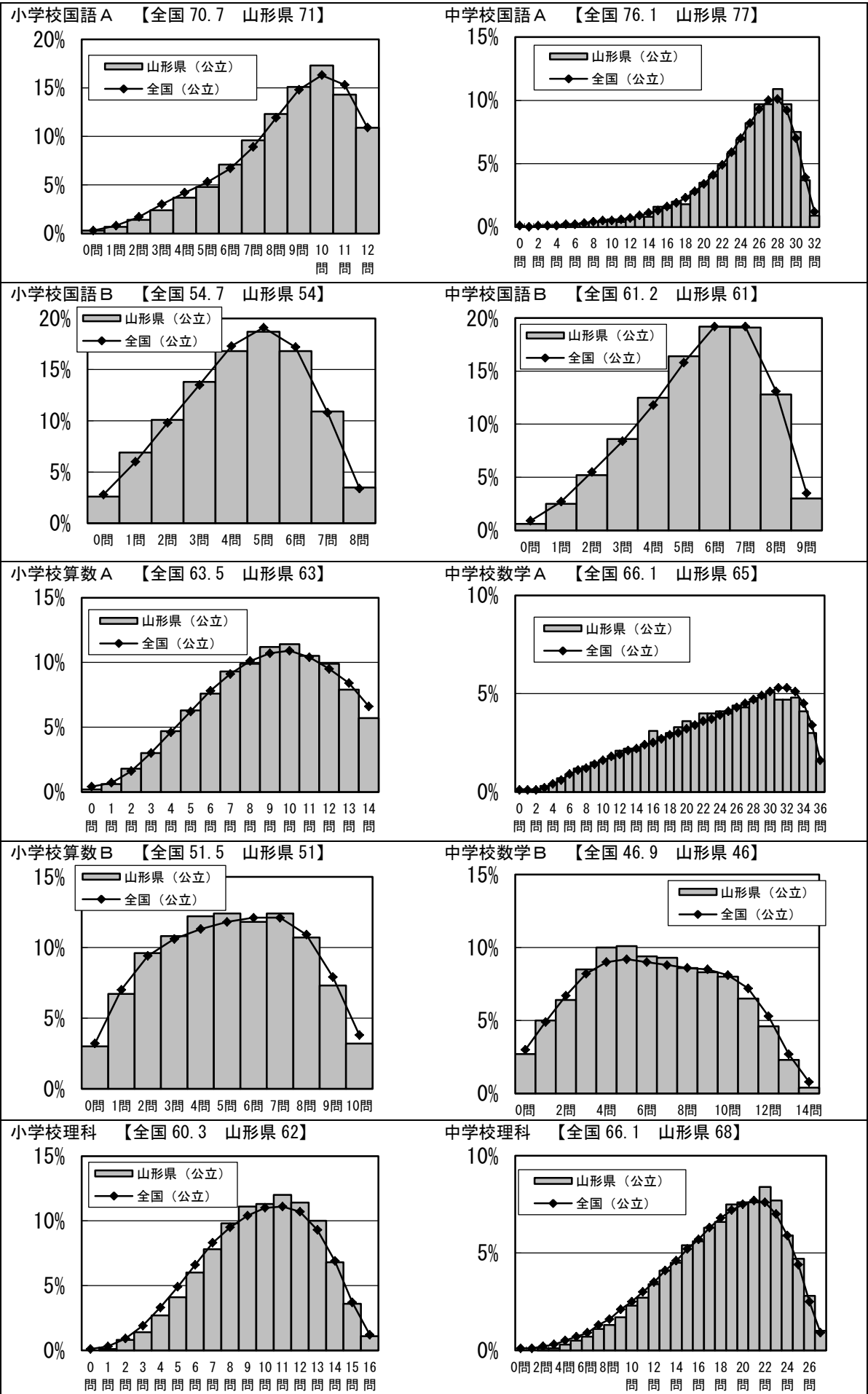
年度	平均正答率	全国との差	年度	平均正答率	全国との差
平成19年度	75.3	+3.4	平成19年度	64.1	+3.5
平成20年度	65.5	+2.4	平成20年度	51.9	+2.7
平成21年度	65.1	+2.4	平成21年度	59.2	+2.3
平成22年度	65.0	+0.4	平成22年度	44.6	+1.3
平成24年度	62.3	+0.2	平成24年度	50.1	+0.8
平成25年度	63.1	-0.6	平成25年度	40.7	-0.8
平成26年度	67.6	+0.2	平成26年度	60.2	+0.4
平成27年度	63.4	-1.0	平成27年度	40.3	-1.3
平成28年度	61	-1.3	平成28年度	43	-0.8
平成29年度	63	-2.1~-1.2	平成29年度	46	-2.6~-1.7
平成30年度	65	-1.6~-0.7	平成30年度	46	-1.4~-0.5

○中学校理科

年度	平均正答率	全国との差
平成24年度	54.9	+3.9
平成27年度	54.9	+1.9
平成30年度	68	+1.4~+2.3

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果による山形県の現状と課題

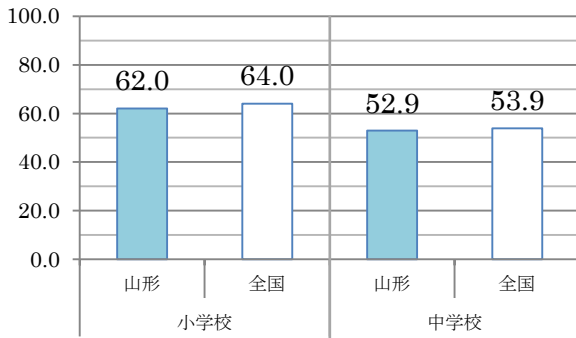
1 学力調査の結果（教科の平均正答率及び正答数分布グラフ）本県と全国との比較



2 学習状況調査の結果から

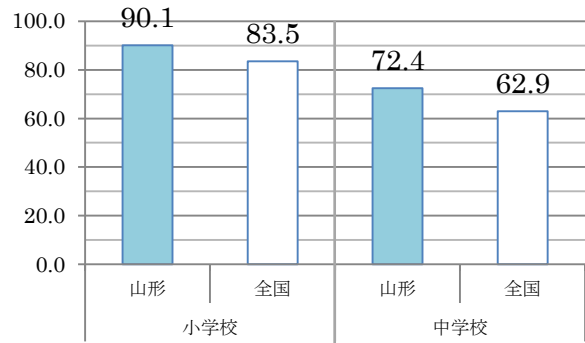
(1) 教科に関すること

算数・数学の勉強は好きですか



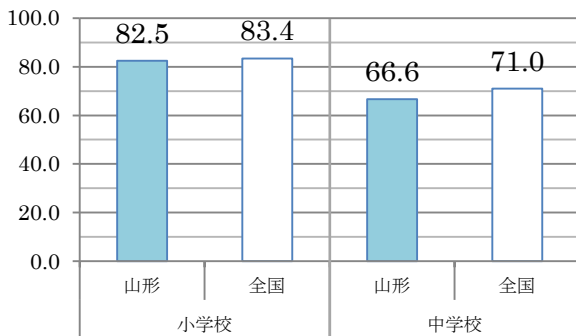
【H29 調査(山形)小 62.1 中 52.6】

理科の勉強は好きですか



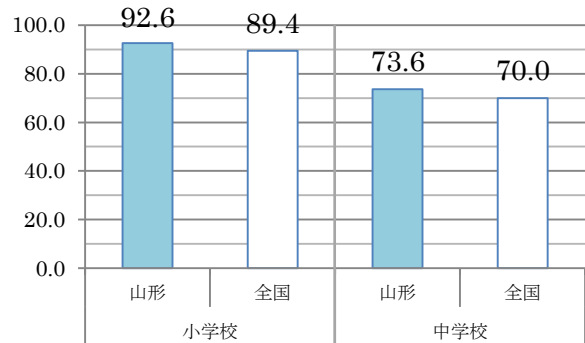
【H27 調査(山形)小 91.7 中 70.6】

算数・数学の授業の内容はよく分かりますか



【H29 調査(山形)小 76.8 中 63.7】

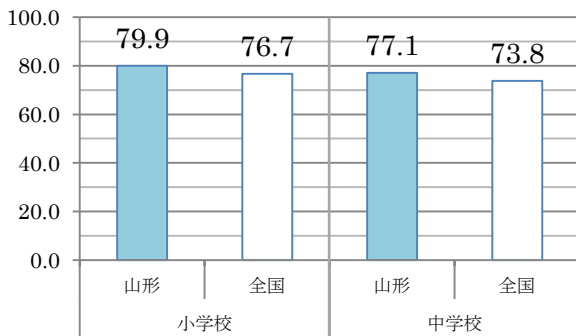
理科の授業の内容はよく分かりますか



【H27 調査(山形)小 92.3 中 70.3】

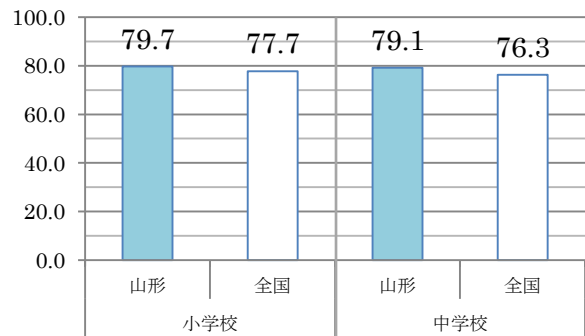
(2) 探究型学習に関すること

授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う



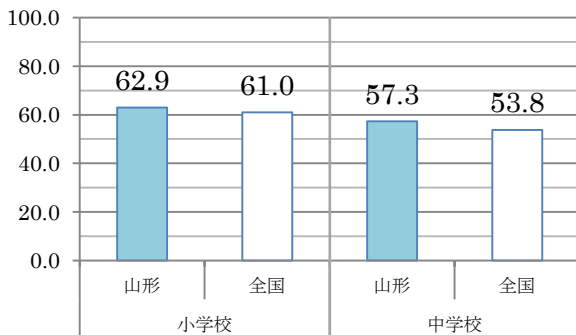
※30年度新規(H29 類似項目(山形)小 80.5 中 77.2)

学級の友達との間で話合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている



【H29 調査(山形)小 70.6 中 69.1】

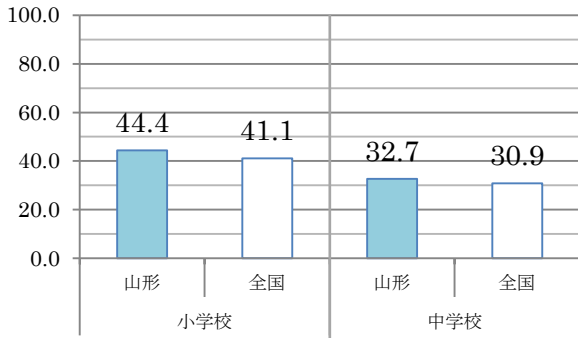
自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して発表していたと思う



【H29 調査(山形)小 65.4 中 59.6】

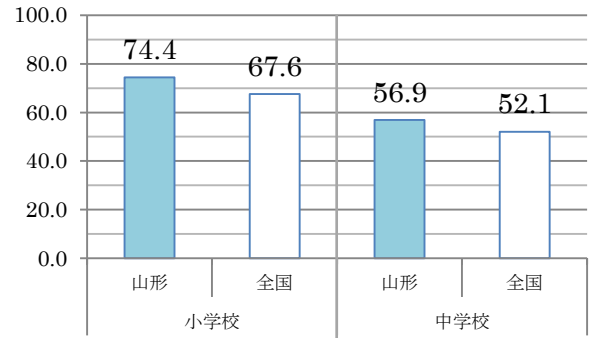
(3) 家庭生活に関わること

1日30分以上読書している



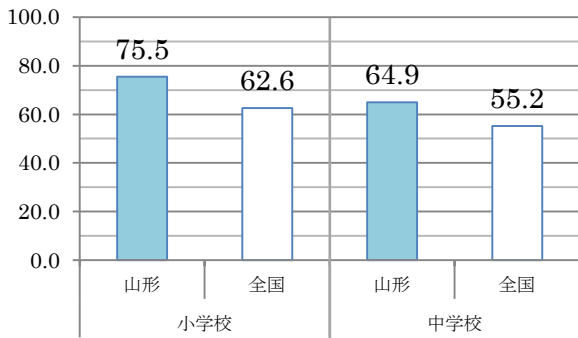
【H29 調査(山形)小 37.7 中 30.0】

計画を立てて勉強している



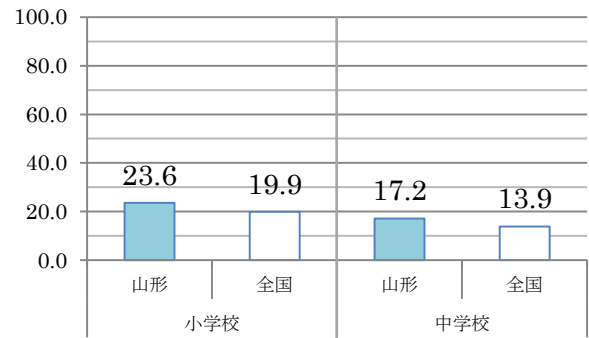
【H29 調査(山形)小 73.1 中 55.9】

授業の予習・復習をしている



※30 年度新規

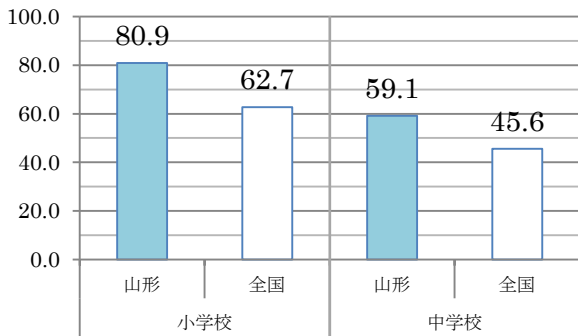
新聞を読む(週1回以上)



【H29 調査(山形)小 23.8 中 16.7】

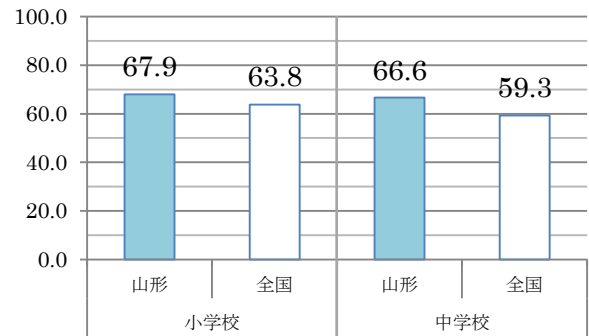
(4) 地域に関わること

地域行事に参加している



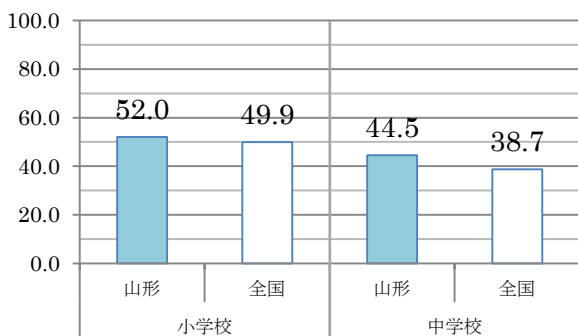
【H29 調査(山形)小 82.7 中 57.9】

地域・社会の問題に関心がある



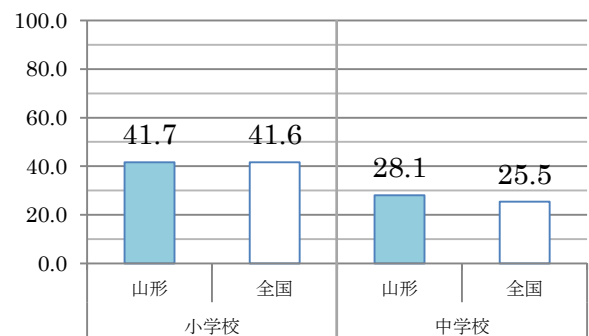
【H29 調査(山形)小 67.4 中 66.0】

地域のために何をすべきか考える



【H29 調査(山形)小 44.0 中 38.0】

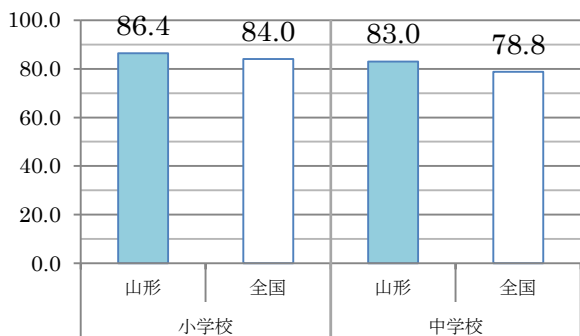
地域の大人との関わり(勉強・スポーツ・遊び)



【H29 調査(山形)小 42.4 中 25.1】

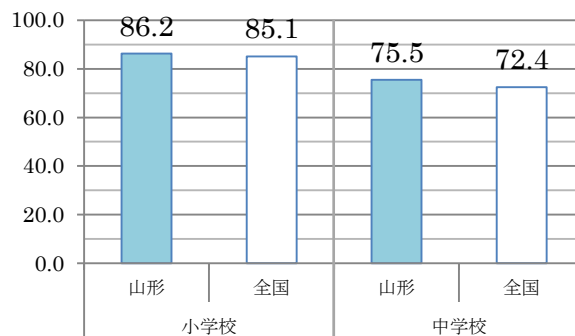
(5) 児童・生徒自身に関わること

自分にはよいところがある



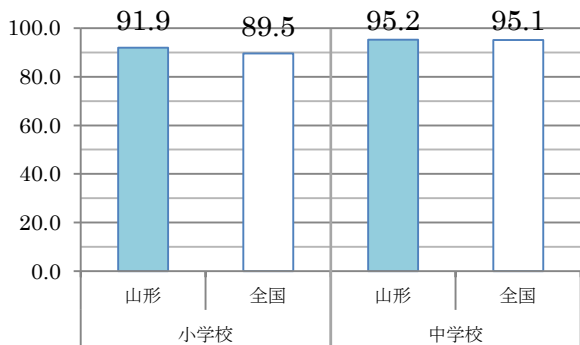
【H29 調査(山形)小 80.1 中 74.9】

将来の夢や目標がある



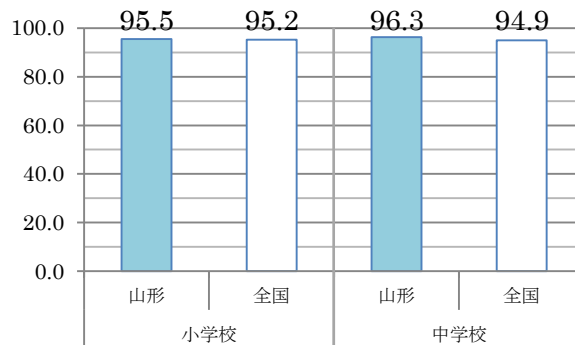
【H29 調査(山形)小 87.2 中 72.7】

学校の決まりを守っている



【H29 調査(山形)小 94.4 中 95.0】

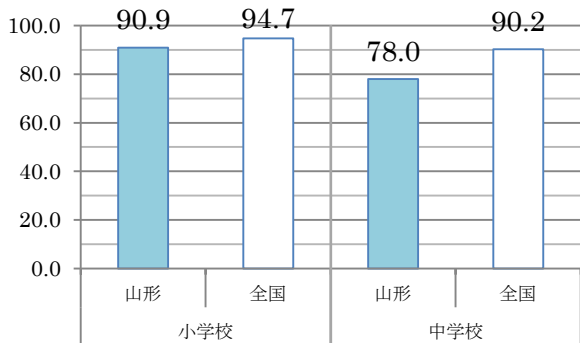
人の役に立ちたい



【H29 調査(山形)小 92.6 中 93.7】

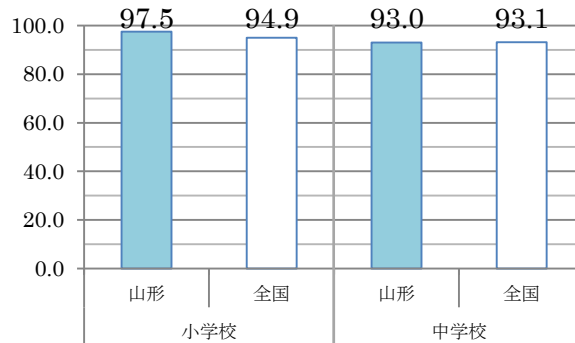
3 学校質問紙調査から

教科横断的な視点での、教育内容の組織的な配列



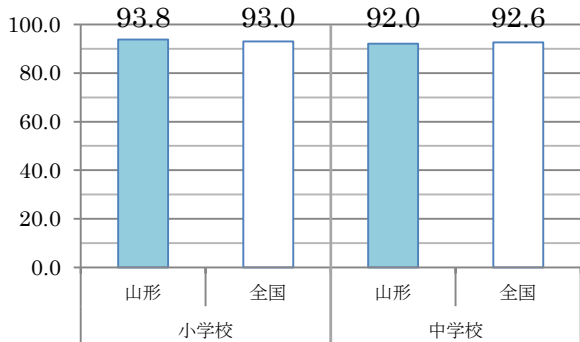
【H29 調査(山形)小 83.1 中 65.0】

教育課程編成、実施、評価、改善の PDCA サイクル確立



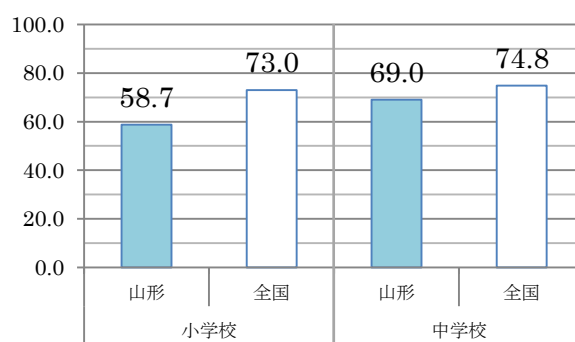
【H29 調査(山形)小 94.7 中 88.6】

習得・活用及び探究の過程を見通した授業改善



【H29 調査(山形)小 87.9 中 85.6】

教員が ICT を活用した授業(週 1 回以上)



※30 年度新規

家庭生活に関わること

項目	小学校				中学校			
	山形県	H29	全国	H29	山形県	H29	全国	H29
1日30分以上読書している	44.4	37.7	41.1	36.5	32.7	30.0	30.9	29.2
計画を立てて勉強している	74.4	73.1	67.6	64.5	56.9	55.9	52.1	51.5
授業の予習・復習をしている	75.5	-	62.6	-	64.9	-	55.2	-
家の人と学校での出来事を話す	79.2	77.3	80.5	78.1	79.2	77.4	76.0	74.3
新聞を読む	23.6	23.8	19.9	21.0	17.2	16.7	13.9	14.9
家庭学習(2h以上)	20.2	17.0	29.3	27.1	29.2	27.6	36.4	35.4
家庭学習(1h以上2h未満)	55.8	55.9	36.9	37.3	44.5	44.5	34.2	34.2
家庭学習(30分未満)	3.3	4.1	9.9	11.3	7.5	8.4	12.8	13.2
読書への興味	-	78.5	-	74.3	-	71.0	-	69.9
携帯・スマートフォンなし	-	49.5	-	36.7	-	21.8	-	16.1
TV視聴時間(2h以上)	-	58.7	-	55.7	-	49.5	-	49.1
TVゲーム等時間(2h以上)	-	28.3	-	31.1	-	34.2	-	37.6

地域に関わること

項目	小学校				中学校			
	山形県	H29	全国	H29	山形県	H29	全国	H29
地域行事に参加している	80.9	82.7	62.7	62.6	59.1	57.9	45.6	42.1
地域・社会の問題に関心がある	67.9	67.4	63.8	63.9	66.6	66.0	59.3	59.2
地域のために何をすべきか考える	52.0	44.0	49.9	42.3	44.5	38.0	38.7	33.4
地域の大人との関わり(勉強・スポーツ・遊び)	41.7	42.4	41.6	41.1	28.1	25.1	25.5	23.6

児童・生徒自身に関わること

項目	小学校				中学校			
	山形県	H29	全国	H29	山形県	H29	全国	H29
自分にはよいところがある	86.4	80.1	84.0	77.9	83.0	74.9	78.8	70.7
将来の夢や目標がある	86.2	87.2	85.1	85.9	75.5	72.7	72.4	70.5
学校の決まりを守っている	91.9	94.4	89.5	92.6	95.2	95.0	95.1	95.2
人の役に立ちたい	95.5	92.6	95.2	92.5	96.3	93.7	94.9	91.9
思いやり	-	86.4	-	85.3	-	87.2	-	84.4
挑戦する気持ち	-	79.7	-	77.4	-	74.6	-	71.0

学校質問紙調査から

項目	小学校				中学校			
	山形県	H29	全国	H29	山形県	H29	全国	H29
教科横断的な視点での、教育内容の組織的な配列	90.9	83.1	94.7	86.7	78.0	65.0	90.2	78.3
各教科等の相互関連がわかる教育課程表作成	86.8	74.2	93.2	85.8	69.0	60.8	88.7	77.5
教育課程編成、実施、評価、改善のPDCAサイクル確立	97.5	94.7	94.9	91.5	93.0	88.6	93.1	87.8
教育内容と人的・物的資源等の効果的組合せ	97.1	92.4	96.0	92.6	87.0	72.2	84.6	74.6
習得・活用及び探究の過程を見通した授業改善	93.8	87.9	93.0	91.5	92.0	85.6	92.6	89.6